



川の学習…寒くてもがんばりました

二学期のスタートと同時に予定されていた、5年生を対象とした「川の学習」が、思いの外苦戦してしまいました。秋雨前線が停滞したり、台風が接近したりで雨が降る日が続いたからです。当然心配されるのは川の増水と水温です。各校と相談し、毎回鹿留川への直前の下見を行う中で、延期を余儀なくされた学校が続いてしまいました。しかし、今日までに小立小を除く（雨天により中止）町内7校の5年生が学習を終えることができました。

この一ヶ月ですっかり秋めいた鹿留川ですが、先月の茨城県常総市の甚大な水害もニュースで見聞きた子ども達は、川の怖さを思い浮かべながらも、川の流れの強さや堆積の働きなどを知るべく、水の冷たさや寒さをものともせず、ここでしか体験できない「川」に挑んでいました。

そして、川の持つ大きな力を自分たちの生活に活かして保全・共存する大切さも学ぶことができました。子ども達のために、冷たい水の中で熱心に指導して下さった渡邊正利先生に改めて感謝いたします。



電子黒板の低学年導入が決まりました。

各学校から強い要望のあった、低学年および特別支援学級への、電子黒板・書画カメラ・ホワイトボードの導入にかかわる補正予算が、9月の定例議会において承認されました。今後、各校の状況にあわせ、業者選定等を経てすべての教室に導入していく予定です。

これも昨年度導入した4年生以上の電子黒板や4月から導入したデジタル教科書が有効に活用されているからです。教育センターとしても、現場の要望を聞きながら、これらの機器がより有効に使われるよう、研修や環境整備に努力していきたいと考えています。

また、導入が遅れているタブレットも大枠が決定し、11月～12月にかけて、順次R・U・N工事が開始され3学期にはタブレットも導入される予定です。

